夕刊
七月五日發行
發行所 磐城新聞社

親のこと（下）

佐野生

—どちらへ？

筋向ひの呉服屋の主人が居て聞いたので、私ははつと耳を立てた——いや、ちよつとそこまで。

御處へ行くのか父親は答へなかつた。そんな會話が二三度繰返されたが、發車するまでは到々解らずじまいになつた。私は段々悲觀的な氣持ちになつて來た。父親と母親との間で何かあつたような豫感がその時ぐーと來た。汽車が動き出すと

—お前の母さんの御父さんのところへ行くんだ。

父親は始めて口を開いた。私は何かあつたと思つたのだ。途中でもそのことを考へた。それでも悲愴な氣持が仲々去らなかつた。

二時間ほど經つた。私は暫く眠つた。

眼を開くと汽車に乗つて居るんだつたと思つた。父親は外を見てゐた。暗くて何も見えないのにと私はをかしかつた。遠くの方で、赤い燈が幾つも幾つも過ぎた。父親はそれを見てゐるのだと私は思つた。

—きれいだね。

—うむ。

私は少し寂しくなつてきた。

—淋しいね。

—うむ。

私はほんとうに寂しくなつて來た。ふとその時に私は何かあつたのだとほんとに解つたような氣がした。

—男ばつかしだといゝね

—うむ？うん。それの方がいゝ。

私の方をじつと見た。そんな父親の眼に會つたことはなかつた。私は何だか淋しくて淋しくてたまらなかつた。

—母ばかしだと、お前のお母さんはどうなる？

私はぐつとつまつた。

—はははは。

笑つたので私もついて笑つた。私はほんとうは悲しかつたのだ。間もなく私は眠つた。翌朝着いた。三日居た。私はその間まらなく不自由であつた。父親も、やつぱり不自由だと言つたのを一度私は聞いた。三日目の朝 私は祖父電報を打ちに行つた。

アスアサ六ヂク ノブ

私は、その兩親のお陰で二十三歳になつた。今では二人の弟と三人の妹がある。父親も母親も唯一人平和でないものはない。時折私はその時のことを考へると矢張り悲しい寂しい氣持になる。此頃になつて私は床の中で或る女のことを考へるのであるが、此の世に女なんか居なければ餘程たのしいのにと、大眞面目で考へることが屢々である。

辭令

吾妻、準治　補三阪村上三阪村社綿津海神社社掌

7月6日

△始めて盂蘭盆會を行ふ（天平寶字五）△露國廢帝銃殺さる（大正七）△支那事變第十二回論功行賞發表（昭和一四）

○

光汝等と共にある間に光を信ぜよ　ヨハネ傳

平局俳黎會（三）

六月句會 互選句集

○蛙なく草の小徑や月の暈　華缺
○瘦蛙みとり疲れの夢さめて　同
○丘に伏せば野はきん〳〵とかげろへる　同
○ゆるやかな雲流れ丘のかげろへる　同
○若き日のたゞにくれゆき春愁ふ　同
○遺骨迎ふ驛ひつそりと遠蛙　つや女
○大蛙水面ゆすりて鳴きにけり　同

講談　夜嵐お絹［112］

信道軒燕玉　筒井蒼衛 畫

「アー痛い〳〵、辨次さんチヨツと待つておくれ」

「何うしたンだおきぬさん足を痛めたか」

「ナニネ、今朝から癪の調子が訝しいと思つたが、持病が起つて」

「持病——そいつは困つたナ、一体その持病ツて何んだね」

「癪なんだよ、あゝ痛々〳〵」

胸を押へておきぬはよし俯く、辨次は背にして居た藥籠を下しておきぬの背後へ廻り、

「オイ、しツかりしねえ、大森の町へ入れば醫者も居れば藥屋もある、もう少し辛抱しねえ」

と云ひながら苦しむおきぬを辨次は膝で背をシツカリ押へて、

「さう反ツてはいけねえ、こいつは弱つたナ、何う云ふわけだか、美しい女には癪があるやうだ、それに當所は往來だ、こつちへ來ナ？」

と南無妙法蓮華經と刻んだ題目石の後へおきぬを連れて來て、

「まア一と休みして行かう、オイしツかりしなよ、當所は鈴ヶ森で處黨の往來するところだ、今は獄門に首もねえが、オイオイさう反つちア可けねえ、藥が無いから斯う云ふ時には困つてしまふ、氣を確に持ちねえオイ、おきぬさん」

辨次はしきりに介抱してゐる所へ品川の方から急ぎ足に來た三人連れの男、

「モシ、親分、あの題目石の陰に居る奴は辨次でございませう」

と云つたのは吉右衛門の子分の唐人龜 月の明りにそれと見た吉右衛門は、ツカ〳〵と進み寄り、辨次の首を押へて

「野郎、とんでもねえ惡戯をしやアがる」

とズル〳〵と引き立てた驚いた辨次、振り拂つて逃げようとするを、

「コレ何處へ行く」

行手を塞いだ酒井豐之助「イヤ辨次はいよ〳〵驚いて是は大變と逃げやうとするを飛びかゝつた唐人龜が抱き止めてそれへ組伏せた、其時おきぬは起き上り、

「親分、あの手紙を見ておくンなすツたの」

「ウム、笠筒の上にあつた置手紙でこゝまで追つて來た、ヤイ辨次われは巾着切だが、足を洗つて博奕打になりてえと云ふから、俺が盃をやつて子分にした、それを有難いと思はず、酒井さんの舊惡を餌にしておきぬさんを脅しつけ茲まで引き出すとは惡い奴だ」

これを聞くと辨次は吃驚して、

「こいつは吊れた、それではおきぬが癪が起つたと云ふのは狂言か」

これを聞いとおきぬはニツコリ笑ひ、

「さうなんだよ、お金が欲すと言つてネ、手紙を書いて來たのさ、モウ、親分や酒井さんが來るであらうとそれを待つ爲にした芝居の相手でもなかつたがネ」

「此の畜生め、俺を瞞したか」

と飛び附からうとするを、何をすると唐人龜は辨次を打ち据ゑ、

「親分何うしませう、丁度御處刑場ですが、お上の役人に代つて、わつちの手で成敗してやりませう」

と云つた時に豐之助が、

「命を取る程の罪もなからう、助けてやれ、コレ辨次俺は武士にあるまじき所業をいたしたを悔い無名の戰と知りつゝ彰義隊に加はり上野で討死いたす決心であつたが幸か不幸か命を有つて山を下り、吉右衛門親分のところに潜伏致し居るは世に未練がある譯ではなく死所を擇む爲だ、然し此の様なことは其方には判るまいが俺の舊惡を餌として、おきぬを釣り寄せるとは心の腐つた奴だ、其方如き小惡黨は多くの人に害を加へる、依つて此れにて斬つてくれやうとは思ふが、殺すも慾然、命は助けてつかはす、向後は改心してあらしくなれ、コレ龜辨次を助けてやれ」

言ふと唐人龜は

「助けえますかね、斯んな奴を生かして置くは冗だ、わつちが絞め殺してやります」

と辨次の咽喉を絞め上げた。

重田眼科
眼科專門
眼鏡檢定
平驛前
重田醫院

小瀧のいちご園
いま出盛りです
御來園下さい
［なるべく容れものを御用意下さい］

割烹 小瀧
鐵道指定旅館
電話小名濱一〇三

能率が上る
ムツソリーニペン
さびない、書きよい、もちがよい、三拍子揃ひの此の吾がムツソリーニを親愛なる事務家諸兄の机下に贈る
代理店 平市操糙小路 魁文堂 電話313番

廣告
酒トマヅイ
おでんの
榮ちゃん
平市田町花ノ里 電話三三番

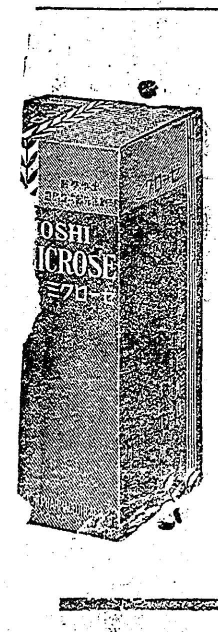
科外生徒募集
一、邦文タイプライター科
●時代の尖端を行く昭和婦人の職業
入學は毎月 隨時
卒業期間 四ケ月（高女卒程度） 十ケ月（小高卒程度）
●卒業者の就職紹介は各方面と連絡を有し斡旋致します
一、洋裁科
入學は毎月 隨時
卒業期間 本科 一ケ年 速成科 六ケ月
文部大臣認可 平陽女學校
（平市 電話四四五番）

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町驛座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇〇番
振替仙臺一五一番
〔藤森事務用器商會〕

時局ノ生ンダ新案特許
日ノ丸習字板（第二八〇五七八號）
使用法半紙節約ノ目的ニテ墨テ書キテ濡雑巾ニテ拭ケバ何回ニテモ使用出來マス
實用新案
メモ板 第二七七九〇四號
野球用ボール 第一七九七三號
興亞ノート 第二四七九八號
專賣特許
興亞厚紙（第（イ）一七三六〇號 第（ロ）一七三六一號）
平市月見町十三
合資會社 興亞特許商事
月見町三十三 同 工場

男女 車掌募集 數名
年齢16……19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四〇・三四三

宴會、御婚禮、仕出し
割烹 尼子亭
……お湯の設備あり……公園内 電話二三〇番
女中さん至急入用



腸内・殘敵を掃蕩せよ！

便通のない日があつてはならぬ！

我々が口から食べた食物も、一日、腸内・殘渣として停滯すると、恐ら恐るべき醱酵をして様々な害毒をひき起します。曰く、頭痛、無氣力、ノイ…、…、ヒステリー、高血壓、不眠、…べて腸內殘敵の仕業であります。何分にも、我々の身長の四倍弱の長さを持つた腸內のことであります。その中に毒素が充滿し、血液中に浸入して行く有様を見れば、排泄の大切さ、便秘の怖しさ…しない人はないでありませう。

食物が、人間の消化器官を通過して、排泄される迄には、大體二十時間乃至二十…時間を要するのであります。故に、健康人は日に一回、規則正しい便通がなければならない筈であります。

便通がないからと言つて

直ぐに下劑を服む人がありますが、大間違ひであります。下劑は、腸の活動力を弱め、恐るべき習慣性を作ります。

醱酵劑の上を行く我がミクローゼは、單なる便秘專門藥ではありませんが、強力な各種消化酵素とヴィタミンBの力によつて、腸の…力を省き、腸動力を强め、消化吸收を助け、快い便通を齎す一大特徴を有して居ります。

ミクローゼは、前京都帝大醫學部助教授農島豐次郎先生が十八年に亙る御研究の結果、酵母にまさる唯一のものと斷定された日本固有のビルツ（有効菌）に據る胃腸强生劑であります。

ミクローゼ（一ヶ月分 …錢 一圓五〇錢）
胃腸强生

★東京・五反田 星製藥株式會社
試験五日分六十錢を切手十錢で送呈す。

密雲散じて天日を！
地下問題の圓滿解決に
全市民明朗色漲る

昨報、磐炭の出願に係る新川以南の市地下採掘問題が會社、關係官邊、市當局三位一体の時局に即する大乘的襟懐から之を試掘に變更された旨一たび傳はるや、多數市民は期せずして宛然密雲散じて久し振りに天日を仰ぐの晴やかな氣分を味つたものの如くである。即ち常に公正と明朗な性格を持つ平市會に於て唯一の暗翳だつた該問題は動もすれば褒中視脱する餘弊から今後或は思はぬ對立氣分を醸成するの場合があるではないかと豫想され、平和圓滿にして始めてその改善を望み得る市政の經營上この蟠りの解消を私かに祈念され而も教育、衛生、銃後産業の各方面に亘り極めて緊要な諸施設に當面する市の現狀から之を顧ふ時一入切なるものあつた折柄長らく低迷した之種の氣分が根本から拂拭されたのは市會の機能に一段の强靭を加へ協力一致市勢の推進に專念し得る基礎を築いたものであり、大に市の前途が祝福される所以である

國有林の製炭方針協議
開く濱三業者大會

濱三郡木炭同業組合管内の國有林關係製炭業者大會は十五日平市國体事務所に開かる

き今後國有林拂下げの際その製炭數量の三割納入を必要とされたのでこれにつき種々今後の方針につき協議する

なほ組合では八日同所に評議員會を開き林檎平支所建設費寄附金並に東京幹旋所木炭出荷代金取扱につき協議

蓮沼縣議時局講演

上下小川村では七日午前十時から小學校に於て出征遺家族の招待會を催し、蓮沼縣議の時局講演がある

惡周旋屋檢擧

平署では東京市向島區人事周旋業堀部義延(四二)が去る三日好間村料理屋瀬谷良之助方抱酌婦村田レイ(二三)を誘ひ出し瀬谷方前借三百圓を踏倒させて逃走したので手配中四日郡山驛前内山旅館に投宿中郡山署に檢擧されたが堀部はレイを東京市向島附近の料理店に周旋せんとしたもの

高野へ乘合馬車
明後七日から定期運轉

痔疾に卓効ある靈泉として遠近に著聞し乍ら交通不便の爲に其の利用を阻まれゐた箕輪村高野鑛泉への交通施設は從來一般の深い關心を集めて居たが中の湯入の湯兩營業者が過般來計劃中であつた内郷村宮の乘合自動車終點から同鑛泉に至る乘合馬車が此程愈よ其筋の許しを得、明後七日から朝、晝、夕の三回に亘り省線及びバスとも連絡の時間に定期運轉し浴客來往に便に供する事となり關係方面から喜ばれてゐる

植田で指導

植田町では第二次訓練を前に五日午後一時小學校講堂で町内防空群長、警防團幹部を集め指導打合せをする

今回は各群單位に防護見張所を設け、これにより從來の如く空襲警報時に軒下に立つ必要なく一人三十分交代で監視中敵機を發見又は爆音を聽き込んだ場合は町内に待機の全群に知らせ、燒夷彈落下にはバケツ、金盥などを連打急報すればよい

なほバケツの送水は極力漏らさぬよう相互約五尺の間隔を置き返送にはこの間隔を幾分延長して連絡をとられたいと

緬羊貸付け規程
市の増殖案成る

市では今年度事業の一つとして國策線に登場した緬羊の飼育蕃殖をはかるため貸付け規程を設け、先づ十頭を購入して一人一頭乃至二頭を貸付けるべく目下増田勧業課長の許で規程作製其他の準備を進めてゐる

緬羊購入費は最初借受者が三分の一を負擔、その仔一頭を返納、更に市で他方面に貸付けその三分の一は最初の借受者に返納されるもので、この方法により漸次蕃殖をはかる目的である

大日本炭貯蓄奬勵

勿來町大日本炭礦では百二十億貯蓄に合流、家族を含む全山從業員の天引貯金を實行して本年度貯蓄十六萬二千圓を目指しみんな張り込んでゐる

早くも水魔の犧牲
水遊びご用心のこと

箕輪村大利字西田農片寄文男さん長男文一君(八)は四日午後五時頃自宅附近の水溜りで水遊び中誤つて深みに入り溺死した

昨今の馬鹿陽氣に地方江筋の貯水池などは水を戀ふ小河童連で賑はつてゐるが例年この頃になるとふとした不注意から溺死が多いので平署では一般父兄の注意を望んでゐる

振る舞ひ酒も内輪に
市内各所の夏祭りに
頼もしい銃後風景

夏から秋へかけて次々と催さるる市内各所の祭典は皇軍の武運祈願に一入意義深く行はるゝが、諸事節約の折柄、祭典後の振る舞ひ酒なども從來よりは甚だしく内輪に行はれ從つて町内からの醵出も幾分手締めされる結果となつてここにも頼もしい銃後意識の現れが目れるではないかと豫想されてゐる

四市野球延期

既報十四日平商、平工兩球場で擧行の筈だつた縣内四市吏員野球大會は都合二十八日午前八時からに延期された

。。。。惠美子さん美擧。。。。

内郷村磐井場磐炭社宅磐女三年生磯崎惠美子さんは小遣ひ錢を節約した二圓三十錢を貧困な出征兵遺家族の菓子代にもと今五日市銃後奉公會へ寄託した

意義ある記念行事の數々
事變記念日と平署

明後七日の支那事變勃發三周年記念日には市でも既報當日の行事を市内區長に通知、時局再認識と長期建設に對する市民の心構へを强化するが平署でも當日の記念行事を左の如く決定意義ある一日を送ることゝなつた

一、國旗掲揚

一、宮城遙拜

一、詔書捧讀式　午前八時三十分から同署會議室で皇紀二千六百年紀元節に賜りたる詔書捧讀後渡部署長訓示

一、關係出征遺家族慰問代表が市内庄司富太郎氏留守宅慰問

一、慰文袋及び慰問文の作成發送慰問袋代は全署員俸給の二百分の一醵出

一、勤勞奉仕　全署員による署内外の掃除

一、劍柔道猛練習

一、正午一分間英靈に對し默禱

自肅を破らぬ程に
海に事變日記念
水の世界目前に展開

戰線の現地思へば勿体ない話であるが九十度を上下する昨今の暑熱に今年も愈よ近く水の世界が展開される各中等學校もあと二週間で休暇に入るが、この暑さで皆それぞれ待てず、明後七日日曜には前線への慎しみを忘れぬ程度で銃後の練成を目指す赤裸の跳躍に一入力強く事變を記念する健康群像の繰り出しに今年最初の賑ひが豫想され、各校が脱衣所などでは昨今略ね諸般の準備を整へ何れも待機の姿勢を持してゐる

防空群毎に見張所設置
砂、水、管制具など準備が必要
第二次防空訓練近づく

地方に於ける今年度第二次防空訓練は既報の如く愈よ來る十三日の準備訓練からはじめられるので市内各區では早くも器具類の準備協議を纏めてゐる

(一般的準備)恒久的燈火管制用具水五斗五升に砂又は土二斗五升(この外四升入程度の注水バケツ)二階にも各々相當量

=家庭防空群=從火叩き　水柄杓　長棒(七尺)網、シャベル、郵便梯子など

豐間定置漁業認可
町制に氣負ふ當業者

豐間の漁業は町制實施を機として當業者の張り込みも素晴しく同町漁業協同組合出願の漁網類漁業、鰤定網による

鮪、鰤、鯛、鰆、鱸、鰺、鯖、柔魚、物太郎

などの定置漁業が認可された

(漁期)一月一日より十二月三十一日まで

(漁業權存續期限)昭和十五年六月二十九日より同二十五年六月二十八日まで十ヶ年間

伜の出動に感奮の寄附
高久の中右衛門翁

高久村の長老格たる大字下高久箱崎中右衛門翁は多くの子寶に惠まれ乍ら從來一人も前線へ送らず時局柄少からずこれを遺憾としてゐたが此程六男辰己君(二四)が軍事に動したのに感奮し

金二十圓宛銃後奉公會　國防婦人會　在郷軍人會

金十圓女子靑年團

へ寄附し村人を感激せしめてゐる

市内神社の例大祭日割

七月二十一日小社別雷神社、同二十二日小社火上崎尼子神社

。。。。寄附者に褒狀。。。。

草野村渡邊宮治氏は今年一月同村小學校基本財産に二百圓を寄附、此程褒章條例により褒狀を贈られた

鮫川管理者來郡

鮫川堰水利組合管理者鹽谷地方課長は四日來郡、常任委員古川植田町長案内で同日上釜戸以南下流を視察同夜植田町に一泊五日は上遠野村取入口方面上流水路を視察して歸廳した

拈華微笑

□ 地下問題の暗翳解消に宛然夏ぞらの如く明るい市民の顔

□ 密雲散じて天日を仰ぐの槪。誰か之を誇張となすものぞ

□ 財布迄涼しくなる濱の間代、其筋の手で今年は幾分緩和か

□ 夏祭りにも時局色、慰勞の酒盛りも内輪になつて寄附の減額は嬉しい

□ 昂る騰る水銀柱、物價ならずとも此種の天井知らずも眞つ平だ

法外な間代にお灸
家貸地代統制令が鞘走る
濱の家主自戒のこと

この時とばかり短期間中の貸家貸間にぼろい儲けを當て込む家主は海水浴季中の各濱に見る實例であり、根が勘定沙汰に拘泥せぬ銷夏の失費として餘り面倒にせず、高いと思ひ乍らもその要求に應じて來たが右は一昨十三年八月四日釘付けの家賃地代統制令を實施せしめ以て違反者を處罰する事になるではないかと觀られるので濱の家屋所有者は時節柄細心の自戒が必要であると

戰歿勇士の墓參

市では事變記念日當日市首腦部を五班に分け市内十六寺に眠る戰歿勇士の墓參を行ふ

陣中を聽く
……(793)……

銃後の御活躍振りに
現地の私達も力强い
胡摩濱出身　高田五郎君(通信)

非藥緊りて梅雨空に御[?]へやら、毎日晴天續きで大陸的暑が加はり夏らしい氣候に相成りました。其後御一同樣には愈よ御勝の段御賀の至りに存じます。さて此度は御手紙と御恩情の籠つた慰問袋を頂だいし厚く御禮申上げます。家族の者が何彼と御世話樣に相成り言葉も知らない程感激致して居ります。非常時局に處して皆樣の眞劍な緊張振りと御活躍振りは現地に在る私達にとつて誠に心强く頼もしく考へられ欣快に堪へない次第でございます。當地は今でも百十五六度の炎熱ですが又々昇る事と存じます。暑いことは暑いですが毎日元氣よく一線警備に任じて居ります御安心下さい。御國の前線警備に任じて居ると言へば内地の御暑さに負けぬ不屈の御勇氣かけて參り粉骨碎身、國の御爲及ばず乍ら力の限り東洋永和の一日も早からん事を祈りつゝ軍務に邁進し皆樣の御期待に添ふ覺悟致します。家族のものが何彼と御厄介になることゝ存じますが何卒宜しく御願申上げます。右まだ簡單乍ら御禮旁々御願迄申上げました。

暑熱を克服
前線にて　野川國太郎君

暑中御見舞申上げ候。小生も益々元氣にて日夜軍務に精勵致して居ります。故郷の皆樣も御安心下さい。中支も日々暑くなりまして、百度以上になり鐵帽か熱いる程ですがその暑さに負けず皇軍は宣撫に討伐に日夜奮闘して居ります

平市慶弔録

△出生　紺屋町六六片野龜吉氏二女宮美子さん

▲死亡　堤の内一二深谷スエさん(二七)

賀佐藤君四女嫁吉田家
瑞雲　小野務平

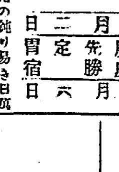
淑德高華結淨緣
關雎一曲壽觴傳
誰疑內助興家任
磯村斯成磐石堅

五日
(小名濱測候所觀測)

滿潮　前三、四〇　後五、五五

干潮　前一〇、五五　後一一、一五

六日　土曜　庚戌　先勝　定　胃宿　新七月二日



▲一白　兎角鋒先の鈍り易き日萬事終を注意すべし　▲二黑　つゝしみ足らざる時は口舌病難を來すことあり▲三碧　進む事のみに氣を奪はるゝ時は失敗すべし▲四綠　事半ばにして緩みを生じ易し目上に問て吉▲五黄　殺氣立ちて事を誤まり易き日飮食にも注意▲六白　成功を求めず漸進主義を採るが安全なる日▲七赤　多少の苦は免れざれども大體成功の日なり▲八白　他人の世話事に手を焼く事あり控目安全▲九紫　徐々吉に向つて進み行く日但投機業には凶

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩　南の風晴　夕立模樣

明日　同

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌　平市紺屋町三六

◀鑑定項目▶
名前のみで一代の運命
何んでもわかる……

体力　肉体　疾病（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動　職業　天運（適業、不適業）（天運、成功、不成功、災厄）に關する一切
血緣　家族運　男女緣（父母の緣、夫婦の緣、子供の緣）（氣質、相性、相尅、有無）方位に關する一切　婚期

銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

一、タバコをヤメルのによくきく藥
▼確實に禁煙に成功の出來る
禁煙含嗽藥「ニコチロン」　一瓶一圓
を是非御試用を御勸め致します
漢方胃腸藥の專賣所　山野邊藥局

食事。喫茶。酒場を兼ねた
レストラ　サロン
營業時間　開店…午前十時　御食事は午前十一時より　閉店…午後十一時限り
平市銀座街　電話五九二

外科一般　ヒフ臟外科　性病科　肛門病科
平市南町十四番地(警察署通り角)
(舊診療所　平市六丁目)
木村外科醫院　木村淳
電話三〇九　◎入院應需

平みやげ
磐城平の名所地が一目でわかる
米屋の名物最中
風味自まんの米屋の最中
平驛前通り
米屋最中專門店